

土岐氏の祖



土岐光衡像（瑞浪市一日市場館跡）
（造形 桐井雅康・铸造 寺澤啓治
・監修 三浦一郎）

初代
美濃守護



土岐頼貞像（龍門寺蔵）
【七宗町指定文化財】



小島のすさみ（瑞巖寺蔵）
【岐阜県重要文化財】

最後の
守護頼芸
ゆかり



伝土岐頼芸娘所用の短刀
（個人蔵）

美濃尾張
伊勢3ヶ国
守護



土岐頼康肖像部分（瑞巖寺蔵）

東陽英朝
の賛に
「岐阜」



土岐成頼像部分（瑞龍寺蔵）
【岐阜市指定文化財】

鷹の名手
伝頼芸作



土岐鷹図（南泉寺蔵）
【山県市指定文化財】
（1月4日～2月9日）

心頭滅却
火自涼



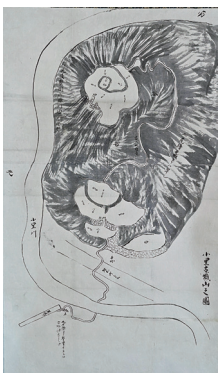
快川国師像（南泉寺蔵）
【山県市指定文化財】
（2月11日～3月8日）



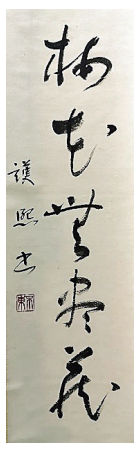
土岐頼益懸仏
（八幡神社蔵・笠松町歴史未来館寄託）
【笠松町指定文化財】
（1月17日～2月16日）

源光衡が鎌倉幕府御家人となり、美濃土岐郡に土着して名字に土岐の地名を冠しました。以後、美濃一国だけでなく、尾張・伊勢をはじめ全国各地に、明智や小里、妻木や石谷など数十家に及ぶ支族を分派し、美濃の武士団で最大の勢力となり、南北朝動乱の初期、土岐頼貞が足利尊氏に従って美濃守護となりました。三代守護の頼康は、美濃のみでなく尾張・伊勢の守護をも兼務し、以来土岐氏は天文年間（1532～55）、土岐頼芸が斎藤道三に美濃を追われるまで、11代2百余年間にわたって美濃守護を歴任し、室町幕府では三管領四職家に次ぐ家格をもって遇されました。

平成3（1991）年、美濃源氏フォーラムは土岐一族を中心とした歴史検証とその歴史を活かしたまちづくりを行うことを目的に、瑞浪市を中心に活動を始め、令和2（2020）年は設立30周年にあたります。今回は、大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公でもある明智光秀にちなみ、県内各地の土岐一族ゆかりの歴史資料や古寺、城址、史跡等の写真パネルに加えて、土岐氏中興の祖・土岐明智定政を祖とする沼田藩土岐氏や明智光秀に関連した資料を展示し、土岐一族の最新研究を紹介します。



小里城絵図
（土岐弘樹氏蔵・興徳寺寄託）



右：茶杓 銘 柳影
左：一行書「梅花無尽蔵」
細川護照作（個人蔵）



左：桔梗紋入鏡
右：沼田城絵図
（沼田市教育委員会蔵）

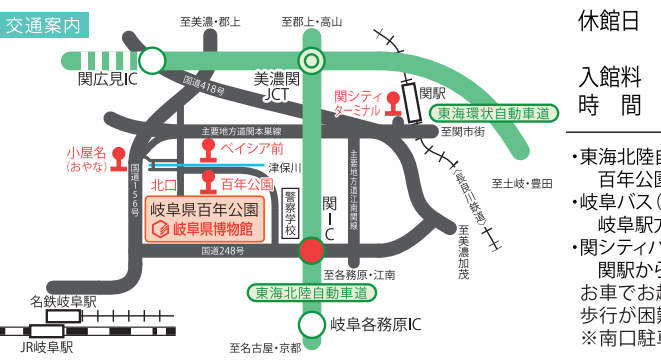


特別展

- 徳川家康書状（個人蔵） 2月22日～会期終了
- 土岐定政伝記（個人蔵・群馬県立歴史博物館寄託）2月24日～3月8日

《関連事業》

- 古田織部公創始 武家茶道 式正織部流披露 15:15～16:00
日時：令和2年1月5日（日）・12日（日）・19日（日）・26日（日）
2月2日（日）・9日（日）・23日（日）
3月1日（日）・7日（土）
定員：120名（先着順・当日受付） 参加費：無料
会場：岐阜県博物館 けんぱくホール 亭主：井澤 瑞浪



休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日）
年末年始 令和元年12月29日（日）～令和2年1月3日（金）
入館料 無料（ただし、博物館本館の展示を観覧される場合には、所定の入館料が必要です。）
時間 4月～10月 9:00～16:30 11月～3月 9:30～16:30（入館は16:00まで）

- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
百年公園北口駐車場（無料）をご利用ください
- 岐阜バス（小屋名バス停下車徒歩約20分）
岐阜駅方面からは、岐阜バスバスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください（岐阜関線、岐阜美濃線）
- 関シティバス（百年公園バス停下車徒歩約5分）
関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください（わかさ・小金田線、わかさ・千疋線）
お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場（無料）をご利用ください。北口から博物館まで300mです。
歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。
※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km（勾配有り）です。